

上越民商ニュース

発行
上越民主商工会
〒943-0827
上越市栄町7-7
TEL025-524-4816
FAX025-524-3298

※11月5日付商工新聞

2面左下に上越民商のパソコン記帳会の記事が掲載されています。

楽しかったよ！ 婦人部の「クラフト手芸教室」

婦人部は10月25日(木)午後1時から民商会館を会場に「クラフト手芸教室」を開催し、7人が参加して手さげバック作りに挑戦しました。

講師は石黒優子さん(64) = 重機才ペ = と嶋田道子さん(68) = 不動産 = が務め、クラフト紙を決められた長さに切り、バックの底から編み始め

ましたが、「うまく編み込めない。」「なにか違うような気がする。」など、笑い声や落胆の声が入り混じりながらも2時間かけてようやく底の部分完成

させました。参加者の丸山一美さん(49) = 電気工事 = と姉の西村明美さん(56)は、「参加して楽しかった。バックが完成したらお母さんにあげるつもり。自分のはまた別の作品に挑戦したい。」と意気込みを話



講師の嶋田さん(左)の指導を受ける西村さん(中央)、丸山さん姉妹



講師の作品や作成途中の作品を持って「次回も楽しむ」意欲満々の参加者

てくれました。山崎幸子さん(66) = 建築 = は「付つきりで教えてもらったので何とか出来ました。難しい部分もあったけど、とても楽しかったです。次回は完成めざして頑張ります。」と意欲満々。

講師の石黒さんは、「私自身習い始めてまだ1

年半位なので人に教えるのはとても難しかったです。教室を終えて後で考えたらもっと簡単に編み込める方法に気が付いて反省していますが、教える立場だったのに、自分が教えられたようです。」と話しています。参加者は、講師の石黒

消費税増税、複数税率・インボイスを阻止しよう！ 直江津東支部が商店街へ号外配布行動

安倍政権がねらう消費税増税、複数税率・インボ

イスの危険な内容を多くの業者に知らせようと直江津東支部は10月26日、午後6時30分から6人で直江津駅前通りや西本町通りに商工新聞号外(消費税特集)に署名用紙をつけて250枚をポストイングしました。

遠藤芳春支部長(65) = 建築 = が役員会に提起して実施したもので役員・会員が行動に参加しまし

た。初参加の本山清美さん(50) = 塗装 = は、「営業している飲食店にも声をかけて配りました。」という、古川幸治さん(69) = 建築 = は、「大したもんだ。やっぱり女性が配ると相手の反応もやさしいようだね。」と感心しつつ「自分も、知っている飲食店には声をかけました。」と行動を称え合いました。清水久二さん

さんや嶋田さんが作った作品を見て「羨ましい」「次はカバンを作りたい」と創作意欲を増していました。

婦人部役員の岩佐トモミさん(69) = 遊漁船 = は、「役員会で、みんなの興味がある楽しい企画をやることで部員同士の交流を深め、婦人部の魅力を分かってもらい、婦人部を大きくしてもらいたくてこの手芸教室を開催しました。」と開催の目的を語ってくれました。

婦人部では、完成まで継続開催する計画で、次回は11月13日(火)10時から民商で開催します。

次回からの参加も可能ですのでご連絡下さい。

(75) = 左官 = や横山光義さん(72) = 管工事 = も初参加。「消費税増税の危険な内容を分かってくるといいね。」と話していました。



消費税増税の危険な内容を知らせようとポストイングする遠藤支部長

『建設業一人親方 労災保険』の 相談は民商へ！！

元請業者から、「労災保険特別加入に加入しないと、現場に入れない」と言われ困っていませんか。一人親方労災保険は「労働保険事務組合」を通じて加入しなければなりません。

民商では、「建設業一人親方事務組合」を設立し、一人親方を支援しています。事務組合に加入すると、労災保険料が年3回分割できる利点もあります。

迅速に対応できますので加入を考えている方はお問い合わせください。

尚、規則として「労働保険事務組合、一人親方労災保険」とも、民商に入会することが条件となります。



11月6日は 午後の業務を 休みます

事務局員を対象とした県連主催の「経済学習会」が開催されるため、11月6日(火)は午後の事務所業務を休みます。ご迷惑をお掛け致します。

全国30万人の中小業者が愛読し、情報交流も出来て購読料は月々500円。税金対策や融資、仕事おこしやまち

商売繁盛のコツやヒントが毎週届く 全国商工新聞(500円/月)を増やそう

おこしのヒントや、商売仲間の工夫やこだわりが満載の全国商工新聞の購読者を増やしましょう！ とりわけ消費税増

税、複数税率・インボイス導入阻止の立場から書かれている記事は他紙にはない情報が満載です。「税制で商売つづ

な！」の世論を高めるため、友人・知人、同業者に商工新聞購読を勧め、来年10月の消費税増税を阻止しましょう。